

山陰防災電機株式会社（島根県出雲市）

【消防設備の設計、施工、点検】

商工会議所のイチョン

若者の活躍推進

LEADER

代表取締役社長 布野 浩之 氏



島根県出雲市で 防災設備、弱電設備の設計、施工、点検を手がける山陰防災電機。社長の布野氏は、地域密着型企业として、住みやすい環境づくりを担う若手社員の育成に努めている。

若手社員を積極的に採用し、 仕事に誇りの持てる人材に育てる

■背景・きっかけ:

学校・ホテル・総合病院といった大型施設から店舗・工場・住宅まで、あらゆる建築物の防災設備・弱電設備の設計・施工・点検を行っている山陰防災電機株式会社。火災等の災害から生命・財産を守り、人々の暮らしや住みやすい環境づくりを目指し、地域の安全・安心を提供している。モットーは、①企業人である前に、人として、あらゆるものに感謝すること、②常に自分を磨いて、世のため、人のために行動すること。社員数24人(男性22人、女性2人)の同社にとって、即戦力となる優秀な人材の確保が喫緊の課題だった。



■取組内容・効果:

同社で取り扱う商品は多種多様で、全く同じシステムは存在しないため、お客様のニーズに合ったものを提案する必要があり、それが可能な人材を求めていた。経験者を集めるのに苦戦していた一方、経験のない人を正社員とすることにも不安があった。そこで、布野社長は、ジョブ・カード制度を活用し、期間を決めて未経験者を訓練し、業務に欠かせない知識を身につけた上で入社させることを決意。有期実習型訓練を経て、2名を正社員として採用している。

訓練期間中は、先輩が専任で指導役となり、Off-JT(座学等)とOJT(実習)を組み合わせながら、防災設備の保守・点検に関して基礎から教えるとともに、毎日訓練生に気付きをコメントすることで、得意分野や不得意な面を客観的に把握できるようにした。

正社員となった一人、造園業からの転職組の坂東氏は、「毎日楽しく、充実している。人の命を守る仕事のため、業務に対する責任感が強くなってきたと感じている。消防設備士乙4類試験にも合格したので、今後もいろいろ挑戦したい」と意気込みを語る。



お客様のニーズを汲み取って提案できる人材に

中小企業の実践 ポイント

- ▶ 有期実習型訓練を経て正社員として採用
- ▶ 専任の指導者を置き、未経験者に基礎から伝授

■今後の展望と課題

若手社員をお客様の立場になって考えられる人に、そして防災分野のスペシャリストに育て、その社員が後進へと引き継いでほしいと考える。

【企業データ】

代表者	代表取締役 布野 浩之	会社設立年	1969年	従業員数	24人
本社所在地	島根県出雲市西園町206-1	ホームページ	http://www.saninbousai.jp/		
事業内容	防災設備、弱電設備の設計、施工、点検				